

KEY TOPIC

『地域みっちゃく生活情報誌®』とHAPPY MEDIA®という羅針盤 ふたつの商標で示す未来図

中広は『地域みっちゃく生活情報誌®』と、HAPPY MEDIA®というふたつの商標を登録しており、そのブランド価値を市場で保護しています。ではこのふたつにはどのような違いがあり、それぞれ何を目指しているのでしょうか。中広グループの事業展開の根幹にかかわるふたつのブランドの役割について解説します。

地域に不可欠なメディア 『地域みっちゃく生活情報誌®』

中広グループとVC※加盟各社が発行している『地域みっちゃく生活情報誌®』は、各地域で発行している定期刊行物。生活圈で発行エリアを区切り、そのエリアの全世代を読者対象とし、あらゆるジャンルの生活情報を網羅する。季節性や話題性など多彩な切り口を付与した企画を展開し、隅々まで読んでもらえる編集がなされた、地域に不可欠な雑誌。それが定義です。

『地域みっちゃく生活情報誌®』の特徴のひとつが、地域の各ご家庭に無料でお届けするのを前提としてことです。家に届いた情報誌を開いた読者が地元のことを知り、掲載店に足を運ぶきっかけになる。チラシよりも保存性が高く、次の号が届くまで家族が読み回せる面白く興味深い雑誌。そんな情報誌を届けることによって、地域愛の醸成、そして地域経済の循環と活性化を目的としています。

5,000万部の目標に 込めた決意と思い

現在、『地域みっちゃく生活情報誌®』は35都道府県で175誌発行しています。総発行部数は1,245万部で、目標は5,000万部です。

令和2年に行われた国勢調査の結果によれば、日本の一般世帯数は5,570万5千世帯。一方、令和5年住宅・土地統計調査によれば、空き家の数は900万戸です。

つまり、5,000万部という目標は日本全国の全世帯に情報誌を届けるという決意に他

※VCとはVoluntary Chain(ボランティア・チェーン)の略で複数の仲間が独立性を保ちながら、志を共に協同で企画・編集・営業・運営する組織。

なりません。なぜ全国津々浦々に情報誌を届ける必要があるのかと言えば、各地域が元気になるれば、その集合体である日本が元気になるからです。5,000万部到達は目標ではありませんが、あくまで手段であり、目的は日本全体を各地域から輝かせることです。

道のりはまだ半ば。残り12となった空白県



への進出、市区町村や県単位での占有率の上昇など、やるべきことはたくさんあります。来期も中広グループ各社による新規創刊や既存誌の増刷のほか、新しいVC加盟社の開拓など、目標に向けて一歩ずつ歩みを進めていきます。

課題解決で人に寄り添う HAPPY MEDIA®

HAPPY MEDIA®は、より深く、地域課題やターゲット読者の困りごとの解決に主眼を置いたメディア群です。

例えば、全国5エリアで発行している『まま・ここっと』は、未就学児を持つ親のための子育て情報誌。単純な習い事やお出かけの

情報に終始するのではなく、子どもと一緒に行う体験の提案、幼い子どもならではの病気の対処法、読み聞かせに最適な絵本情報など、子育ての困りごとを解決して、この時期ならではの子育てを楽しんでほしいという思いが編集方針です。

高校生のための就職応援本『Start!』は、地域企業の魅力や仕事内容の詳細を伝えることで高校生の選択肢を増やし、就職におけるミスマッチや早期退職を防ぐことを視野に入れて作られています。

さらに総合求人誌『Workin』は、パート・アルバイトから新卒正社員、中途社員、派遣社員まで多彩な働き方を掲載することで、求職者と事業者をつなぎ、今まさに地域が直面している採用課題の解決に尽力しています。

『地域みっちゃく生活情報誌®』もHAPPY MEDIA®のいちブランドであり、合算した総発行部数は1,450万部を超えます。目的はその名の通り、課題解決を通して読者に寄り添い、幸せや笑顔を提供すること。これは全世帯ではなく、全日本国民に届けたい当社グループの思いであり、メディアを持つ会社としての覚悟です。

『地域みっちゃく生活情報誌®』とHAPPY MEDIA®に共通するのは、徹底して地域にこだわったメディアであり、必要としている人々へこちらから情報を届けることです。

ふたつの商標は、中広グループが目指す未来への羅針盤です。今後も大切に育み、発展させてまいります。

COLUMN

リベラルアーツを身に纏う ——上機嫌を我がものに、「ありがとう」で満ち溢れろ——

思想を持つか、否か その覚悟が組織を分ける

2月は組織の真価が問われる月です。正月の高揚は消え、春の兆しはまだ遠い。広告業界にとっては閑散期と呼ばれ、数字も空気が静まり返る。寒さと沈黙が重なり、人の心は内へ内へと向かいます。しかし私は、この2月を単なる谷間だとは思えません。むしろ、思想を持つ組織か否かが、最もはっきり表れる季節だと思っています。

日本全体を見わたせば、株価の高騰とは裏腹に、社会の元気は落ち込んでいます。経済が回復している実感は伴わず、物価高は静かに暮らしを圧迫。政治は、政権党首が高支持率に乗り、次年度予算成立を後回しにして総選挙へ。中国の理不尽な対応もあり、短期対応に追われ、国家としての長期的構想が国民に十分共有されているとは言い難い状況です。

世界に目を向ければ、情勢はさらに厳しい。1月9日のブログで、米国トランプ大統領がベネズエラのマドゥロ大統領を拘束し、米国へ連行した報に触れました。この一件に見たのは、善悪や理屈を超えた、力による秩序が現実として立ち現れる世界です。日本のメディアは一斉に非難しました。当然の反応ですが、私は思うのです。その批判は、果たしてどこまで当事者意識を伴っているのか、と。

トランプ大統領にとって、マドゥロ氏は国家元首ではありません。米国に麻薬を流し込み、犯罪組織を統括する首謀者です。犯罪者を拘束して何が悪いのか。それがトランプ政権の論理であり、米国という国家の論理でもあります。今回の件は、中国をはじめとする反米諸国に向けた明確なメッセージでしょう。「米国に刃を向けるなら覚悟しろ」。そう、言葉ではなく、現実の軍事力で示したのです。

理想や建前では、もはや世界は動きません。国家も、組織も、覚悟を持つ者だけが生き残る。甘い期待や情緒的な議論は、容赦なく切り捨てられる時代に入りました。もちろん、軍事力強化を是とするものではありませんが、この厳しさから目を背けず、私は直視すべきだと考えています。

地域に泥臭く向き合う 広告という生業の誇り

日本における冷厳な現実として、長年抱え続けてきた少子高齢化、人口減少という構造

問題は、いよいよ地方の現場に重くのしかかっています。人が減り、働き手が減り、商いが細る。それでも歯を食いしばり、工夫を重ね、地域を守ろうとする人々は、確かに存在しています。問題はそうした努力が見えにくく、伝わりにくく、語られにくい構造にあります。

ここで、中広グループの立ち位置が鮮明になります。『地域みっちゃく生活情報誌®』は声なき声を拾い、小さな商いに光を当て、日々の営みに意味を与えるメディアです。その積み重ねが、人の気持ちを支え、地域の温度を保つ。だからこそ、私たち自身が問われます。この仕事に、どんな覚悟で向き合っているのか。

私たちの情報誌に向き合う姿勢は、地域を歩き、そこに生きる人々と顔を合わせ、時には頭を下げ、断られ、それでも寄り添いを忘れ



雪の岐阜城

ず、言葉を探し続けることにあります。実に泥臭い仕事です。数字に追われ、締め切りに迫られ、思うように伝わらず、自分の力に歯噛みする夜もあります。それでも、この生業を選び続けている。

私は共に働く仲間を「同志」と呼んでいます。日本を元気にする。その志を胸に、同じ現場に立ち、同じ悩みを引き受けてきた仲間だからです。

『地域みっちゃく生活情報誌®』の発行部数は1,245万部。他のHAPPY MEDIA®と合わせると1,450万部超を発行し、暮らしの只中へと届けています。これは日本有数の規模であり、750名の同志が積み上げてきた、紛れもない成果です。1ページの誌面が、読者の店選びとなり、働く決断となり、地域の循環を生む。だからこそ、広告とひとむきに向き合い続ける。この生業を共に歩んでいること自体が、私たちの誇りです。

三つの言葉を 思想として纏う企業へ

この誇り高き生業に生きる私たち中広グループが、2026年にさらなる大躍進を果たすために必要な思想として、三つの言葉を掲げたい。二つは「上機嫌」と「ありがとう」です。私がモットーとする上機嫌は、単なる気分の問題ではありません。どんな状況に置かれても、自分の感情の主導権を他人や環境に渡さないという覚悟であり、現実を直視した者だけが選べる強さの表現なのです。

「ありがとう」も同じです。「ありがとう」は礼儀ではなく、「ありえ難きもの」に気づいた者だけが口にできる言葉です。仲間がいること。仕事ができること。支えてくれる人がいること。家族が送り出してくれること。「ありがとう」を心の底から言える人間は、自分が独りで生きていないことを知っています。人・時間・運・環境——すべては与えられているのだと受けとめた瞬間に、自然と口をついて出てくる言葉です。だからこそ「ありがとう」を口癖にできる人は強い。謙虚で折れず、周囲を温める。そんな人材が集まった組織は、揺るぎないものになると私は信じています。

1月号で触れた教養経営(リベラルアーツ)が、いま同志に必要な三つ目です。広告を深める道は、常に人間理解から始まります。人間とは何か。働くとは何か。AIが急速に活用される時代だからこそ、人類史や哲学、心理学に学び、問いを立て、本質を見抜き、人間を深く理解する力が判断の軸となります。その土台に据えるべき思想が、上機嫌であり、そして「ありがとう」が飛び交う組織であることです。上機嫌は覚悟、「ありがとう」は組織の品格です。その上にリベラルアーツを重ねた時、我々はAI時代の羅針盤を持ち、歩みを早めることができます。

最後に、改めて言言したい。上機嫌を、借りものにするな。自分の修養として、我がものにせよ。「ありがとう」を、習慣で言うな。奇跡に気づいた者として口にせよ。リベラルアーツに裏打ちされたこの思想が社風として定着するまで、私は叫び続けます。それこそが、中広グループが社会に認知され、必要とされ、地域に本当に役立つ仕事ができる理由になるからです。

地域に根を張り、言葉を磨き、汗をかき、堂々と生き抜こう。寒風の中にあっても、心を熱くして。それが50周年の前夜、2026年を生き抜くための、中広グループ全員の覚悟であれ。

2026・如月・白銀の金華山・岐阜城を仰ぎて。如水こと二代目後藤次

12,452,173部

※情報は2026年1月発行号に基づき掲載しています
 ※VC発行エリアを含む
 ※世帯到達率は配布部数を2025年9月1日現在の各県が公表している世帯数で割り算出
 ※一部イレギュラーな発行に伴い12月に流通していないものを含む
 ※発行日は月により変動する可能性があります。詳細はお問い合わせください
 ※上記部数には設置・季刊誌媒体を含みません

北海道			
道内発行 媒体数	道内 総発行部数		
6誌	928,540部		
SORA vol.131	滝川市・砂川市・赤平市・歌志内市・新十津川町・奈井江町	41,500部	20日発行
ふりっばー			
豊平区・清田区 南区版	札幌市豊平区・清田区・南区・中央区(東部)・北広島市大曲	229,675部	第4火曜日発行
北区・東区版	札幌市北区・東区	236,370部	第4火曜日発行
白石区・厚別区版	札幌市白石区・厚別区・中央区(創成川より東)・江別市大森地区	173,615部	第4火曜日発行
西区・手稲区版	札幌市西区・手稲区・中央区(西部)・小樽市(一部)	186,380部	第4火曜日発行
AO vol.20	千歳市・恵庭市	61,000部	第4木曜日発行
岩手県			
県内発行 媒体数	県内 総発行部数		
1誌	120,000部		
ゆうゆう vol.576-577	盛岡市・滝沢市(一部)・矢野町(一部)・紫波町(一部)	120,000部	最終火曜日よりその2週間後の木曜発行
秋田県			
県内発行 媒体数	県内 総発行部数		
1誌	138,400部		先月より850部増
QKuRaSu vol.199	秋田市	138,400部	1日発行
宮城県			
県内発行 媒体数	県内 総発行部数	県内 世帯到達率	
5誌	607,840部	50%以上	
ぽんちゅ! vol.143	石巻市・東松島市・女川町	59,000部	20日発行
さきぽ! vol.107	大崎市	40,000部	20日発行
とみぞ! vol.130	仙台市泉区・富谷市	84,600部	20日発行
ぽんちゅ! vol.124	名取市・岩沼市・亶理町・柴田町・大河原町	53,830部	20日発行
ARIFT vol.1849	仙台市泉区・青葉区・若林区・太白区・宮城野区・富谷市・名取市・岩沼市・塩竈市・多賀城市・大和町・七ヶ浜町・利府町	370,410部	第4または第5金曜日発行
山形県			
県内発行 媒体数	県内 総発行部数	県内 世帯到達率	
2誌	216,550部	50%以上	
はつまる vol.119	【東南おきたま版】米沢市・南陽市・高島町・川西町 【西おきたま版】長井市・白鷹町・飯豊町・小国町	【東南おきたま版】60,000部 【西おきたま版】22,000部	82,000部 20日発行
ARIFT vol.1849	東阿賀市・西村山郡河辺町・西村山郡西・西村山郡山形市・山形市・上山市・東村山郡山形市・山形市・天童市・東根市・尾花沢市・北村山郡大田町	134,550部	第4または第5金曜日発行
福島県			
県内発行 媒体数	県内 総発行部数		
2誌	86,500部		
月刊すかと vol.118	須賀川市・楳石町・天栄村・玉川村・石川町・浪川町・衣笠町・古瀬町・平田村	53,500部	25日発行
月刊こみこ vol.40	白河市・西郷村・泉崎村・中島村	33,000部	25日発行

茨城県			
県内発行 媒体数	県内 総発行部数		
5誌	250,200部		
ひたち vol.195	日立市	62,000部	25日発行
にしも vol.152	筑西市・下妻市・結城市	44,000部	25日発行
ここがも vol.128	古河市・埴町・栃木県野木町	52,000部	25日発行
かす vol.147	鹿嶋市・神栖市・潮来市	50,000部	25日発行
ちいき新聞 取手・谷田部 vol.455-458	守谷市・つくばみらい市・取手市	42,200部	毎週金曜日発行
栃木県			
県内発行 媒体数	県内 総発行部数		
1誌	52,000部		
おりっぷ vol.116	小山市	52,000部	25日発行
群馬県			
県内発行 媒体数	県内 総発行部数		
5誌	343,000部		
太田フリモ vol.107	太田市	50,000部	25日発行
桐生みどりフリモ vol.99	桐生市・みどり市	50,000部	25日発行
伊勢崎フリモ vol.144	伊勢崎市	63,000部	25日発行
前橋フリモ vol.144	前橋市	60,000部	25日発行
高崎フリモ vol.339	高崎市	120,000部	25日発行
埼玉県			
県内発行 媒体数	県内 総発行部数		
9誌	1,065,185部		
クッキーズ vol.131	久喜市	52,000部	第4月曜日発行
とねじ vol.131	羽生市・加須町・行田市	56,400部	第4月曜日発行
MAISON vol.122	熊谷市	62,000部	1日発行
Selen vol.65	深谷市	44,000部	20日発行
ぽんちゅ! vol.665	所沢市・入間市・狭山市・飯能市・川越市・ふじみ野市・三芳町・富士見市・白山市	175,045部	第2または第3金曜日発行
ARIFT			
埼玉南西版 vol.1847	志木市・新座市・朝霞市・和光市	81,190部	第2または第3金曜日発行
埼玉南版 vol.1847	戸田市・川口市・蕨市・さいたま市浦和区・南区・緑区・荻郷区・桜区・中央区	247,940部	第2または第3金曜日発行
埼玉中央版 vol.1846	さいたま市西区・岩槻区・大宮区・見沼区・北区・上尾市・蓮田市・楊川市	159,520部	第1または第2金曜日発行
埼玉東版 vol.1846	越谷市・春日部市・草加市・吉川市・三郷市・八潮市	187,090部	第1または第2金曜日発行
東京都			
都内発行 媒体数	都内 総発行部数		
1誌	99,820部		
ARIFT			
東京北東版 vol.1846	足立区	99,820部	第1または第2金曜日発行

千葉県			
県内発行 媒体数	県内 総発行部数	県内 世帯到達率	
39誌	1,698,890部	50%以上	
ちいき新聞			
佐倉西版 vol.2294-2297	佐倉市	43,665部	毎週金曜日発行
東葉版 vol.2294-2297	八千代市	62,370部	毎週金曜日発行
八千代台版 vol.2294-2297	千葉市花見川区・八千代市・習志野市	43,275部	毎週金曜日発行
習志野版 vol.2294-2297	習志野市・船橋市・千葉市花見川区	40,270部	毎週金曜日発行
船橋東版 vol.2294-2297	船橋市	46,540部	毎週金曜日発行
津田沼版 vol.2294-2297	船橋市	40,105部	毎週金曜日発行
習志野西版 vol.2294-2297	習志野市	38,490部	毎週金曜日発行
専横版 vol.2294-2297	千葉市花見川区・美浜区	37,865部	毎週金曜日発行
千葉NT版 vol.1409-1412	印西市・白井市	47,365部	毎週金曜日発行
成田版 vol.1409-1412	成田市・栄町・富里市	42,110部	毎週金曜日発行
佐倉東・酒々井版 vol.1409-1412	佐倉市・酒々井町	23,165部	毎週金曜日発行
富里・八街版 vol.1409-1412	八街市・富里市・成田市	19,525部	毎週金曜日発行
船橋北版 vol.1291-1294	船橋市	32,625部	毎週金曜日発行
鎌ヶ谷版 vol.1291-1294	鎌ヶ谷市・白井市	40,115部	毎週金曜日発行
船橋南版 vol.1175-1178	船橋市	46,830部	毎週金曜日発行
船橋中央版 vol.1175-1178	船橋市・市川市	47,375部	毎週金曜日発行
八幡版 vol.1175-1178	市川市・松戸市	53,975部	毎週金曜日発行
市川版 vol.1167-1170	市川市	40,650部	毎週金曜日発行
船橋西版 vol.1175-1178	市川市・船橋市	55,995部	毎週金曜日発行
美浜版 vol.1280-1283	千葉市美浜区	45,802部	毎週金曜日発行
千葉北版 vol.1280-1283	千葉市花見川区・稲毛区	29,525部	毎週金曜日発行
若葉版 vol.1280-1283	千葉市若葉区・四街道市	43,740部	毎週金曜日発行
四街道版 vol.1280-1283	千葉市稲毛区・若葉区・四街道市	35,834部	毎週金曜日発行
千葉中央版 vol.1280-1283	千葉中央区・稲毛区・若葉区	47,115部	毎週金曜日発行
稲毛版 vol.1280-1283	千葉市稲毛区	42,110部	毎週金曜日発行
緑我版 vol.1280-1283	千葉市中央区	33,041部	毎週金曜日発行
千葉南版 vol.1280-1283	千葉市中央区・緑区・市原市	55,977部	毎週金曜日発行
市原版 vol.1182-1185	市原市	58,593部	毎週金曜日発行
木更津・袖ヶ浦版 vol.1182-1185	袖ヶ浦市・木更津市	37,498部	毎週金曜日発行
松戸駅周辺版 vol.1167-1170	松戸市	62,375部	毎週金曜日発行
八柱・五香版 vol.1161-1164	松戸市・柏市・鎌ヶ谷市	65,330部	毎週金曜日発行
新松戸・北小金版 vol.1161-1164	松戸市	63,665部	毎週金曜日発行

流山版 vol.1015-1018	流山市	47,795部	毎週金曜日発行
柏中央版 vol.1040-1043	柏市	39,080部	毎週金曜日発行
柏南版 vol.1040-1043	柏市	36,005部	毎週金曜日発行
柏北版 vol.1040-1043	柏市・我孫子市	40,000部	毎週金曜日発行
柏西版 vol.1040-1043	柏市・流山市	37,170部	毎週金曜日発行
我孫子版 vol.1061-1064	我孫子市	39,040部	毎週金曜日発行
野田版 vol.927-930	野田市	36,885部	毎週金曜日発行
神奈川県			
県内発行 媒体数	県内 総発行部数		
3誌	580,470部		
ARIFT			
横浜南版 vol.1848	横浜市磯子区・港北区・神奈川区・中区・西区・南区・港南区・旭区・保土ヶ谷区	173,930部	第3または第4金曜日発行
横浜北版 vol.1848	横浜市港北区・鶴見区・神奈川区・青葉区・緑区・都筑区	226,800部	第3または第4金曜日発行
川崎・大田版 vol.1848	川崎市中原区・川崎区・宮前区・東京都大田区・品川区	179,740部	第3または第4金曜日発行
新潟県			
県内発行 媒体数	県内 総発行部数		
5誌	343,000部		
まろごと下越! vol.94	新潟県村上市(一部)・新潟市北区(豊栄)・胎内市・聖籠町	54,000部	30日発行
まろごと卓央! vol.142	三条市・燕市・加茂市・弥彦村	64,000部	25日発行
まろごと上越! vol.124	上越市・妙高市	63,000部	20日発行
まろごと新潟! vol.5	新潟市中央区・西区	60,000部	28日発行
まろごと生活情報 vol.499-500	長岡市・見附市・小千谷市	102,000部	第2-4土曜日発行
富山県			
県内発行 媒体数	県内 総発行部数		
1誌	33,500部		
niikawa vol.4	魚津市・黒部市・清川市	33,500部	月末発行
福井県			
県内発行 媒体数	県内 総発行部数		
1誌	33,928部		
kirameki club vol.212	敦賀市・美浜町	33,928部	25日発行
山梨県			
県内発行 媒体数	県内 総発行部数		
3誌	154,000部		
ピレレ vol.162	笛吹市・山梨市・甲州市	38,000部	25日発行
ParuPi vol.261	甲州市・甲斐市・中央市・昭和町	82,000部	第4月曜日発行
なないろ vol.150	韮崎市・北杜市	34,000部	20日発行
長野県			
県内発行 媒体数	県内 総発行部数	県内 世帯到達率	
1誌	81,000部	87.9%	
月刊ふらふら vol.410	諏訪市・茅野市・岡谷市・下諏訪町・原村・富士見町	81,000部	25日発行
岐阜県			
県内発行 媒体数	県内 総発行部数		
12誌	741,745部		
SARUBOBO vol.359	高山市・飛騨市・下呂市・白川村	54,500部	28日発行
GUJO vol.206	郡上市	20,000部	20日発行
maika vol.233	中津川市・恵那市	44,600部	25日発行
らせる vol.207	土岐市・瑞浪市	36,610部	25日発行
おりべ vol.261	多治見市	44,970部	25日発行

【かに版】 【かに版】御養町 vol.368	【かに版】 【かも版】 【かも版】美濃加茂市・八百津町・坂祝町・川辺町・七宗町・白川町・富加町・東白川村	44,470部 31,150部	
		75,620部	25日発行
ぎららくらぶ vol.231	関市・美濃市	42,777部	20日発行
たんとん vol.258	各務原市	59,800部	20日発行
GIFUTO vol.201	【北部版】岐阜市北部・山県市 【南部版】岐阜市南部・岐阜市・笠松町	【北部版】76,423部 【南部版】119,995部	
		196,418部	20日発行
mintap vol.227	本巣市・瑞穂市・北方町・大野町	47,000部	20日発行
はしまる vol.107	羽島市	24,990部	25日発行
Wao!Club vol.274	【南東版】大垣市南東部・海津市・養老町・輪之内町・安八町 【北西版】大垣市北西部・揖斐川町・池田町・神戸町・関ヶ原町・垂井町	【南東版】46,652部 【北西版】47,808部	
		94,460部	25日発行
静岡県			
県内発行 媒体数	県内 総発行部数	県内 世帯到達率	
8誌	499,880部	79.5%	
mydo			
三島市・清水町・長泉町・裾野市版 vol.311	三島市・清水町・長泉町・裾野市	67,900部	月末発行
沼津版 vol.359	沼津市	57,700部	20日発行
富士版 vol.397	富士市	70,200部	月末発行
富士宮版 vol.164	富士宮市	33,100部	最終土曜日発行
葵区版 vol.129	静岡市葵区	78,410部	第3または第4土曜日
駿河区版 vol.126	静岡市駿河区	75,010部	第3または第4土曜日
清水区版 vol.98	静岡市清水区	67,160部	第3または第4土曜日
ふじえへら vol.91	藤枝市	50,400部	20日発行
愛知県			
県内発行 媒体数	県内 総発行部数		
26誌	1,721,450部		
くれよん			
江南・大口・扶桑版 vol.155	江南市・大口町・扶桑町	60,600部	末日発行
岩倉・北名古屋版 vol.137	岩倉市・北名古屋市長古屋市	58,250部	25日発行
一宮・福沢版 vol.308	一宮市・福沢市	208,400部	20日発行
清須・あま版 vol.103	清須市・あま市	66,400部	末日発行
海部・津島版 vol.87	津島市・大治町・蟹江町・愛西市	59,900部	28日頃発行
西区・北区版 vol.10	名古屋市西区・北区	63,200部	末日発行
フリモUP			
北版 vol.4	名古屋市中村区・中川区(北部)	61,800部	第4木曜日発行
南版 vol.4	名古屋市中川区(南部)・港区	60,000部	第4木曜日発行
守山フリモ vol.168	名古屋守山区	68,200部	第4木曜日発行
緑区フリモ vol.162	名古屋市緑区	83,200部	第4木曜日発行
HANAMARU vol.19	豊橋市	100,000部	最終金曜日発行
ぶらりん vol.112	豊田市	115,600部	末日発行
西尾フリモ vol.122	西尾市	41,300部	第3金曜日発行
アサヒトセ vol.163	尾張旭市・瀬戸市	64,900部	第4金曜日発行

あやもっ vol.2	東郷町	20,000部	第4金曜日発行
KA.NA.U CLUB vol.99	みよし市	23,100部	第3金曜日発行
ゆいまろ vol.115	豊明市	26,610部	第3金曜日発行
cocolu vol.10	刈谷市・知立市	62,000部	第3金曜日発行
北知多フリモ vol.60	大府市・東海市 東浦町	65,000部	第4金曜日発行
安城フリモ vol.59	安城市	40,300部	第3金曜日発行
岡崎フリモ vol.44	岡崎市	62,300部	第3金曜日発行
オレンジクラブ vol.19	清海市 額田郡幸田町	35,000部	第4金曜日発行
Step vol.263	半田市	65,100部	25日発行
はる vol.155	春日井市	114,900部	第4金曜日発行
はる vol.131	小牧市・豊山町	60,100部	第4金曜日発行
リトル vol.163	大山市・扶桑町 大口町	35,290部	第4金曜日発行
三重県			
県内発行 媒体数	県内 総発行部数	県内 世帯到達率	
9誌	624,909部	79.5%	
ぼろ vol.239	桑名市・いなべ市 東員町・木曽岬町	70,740部	28日発行
おの vol.220	【北部版】 四日市市北部 朝日町・川越町	【北部版】 59,143部	【南部版】 64,990部
	【南部版】 四日市市南部 菟野町	124,133部	
			28日発行
Bellw vol.234	鈴鹿市・亀山市	84,800部	28日発行
リーガ vol.174	名張市・伊賀市	55,561部	28日発行
つひす vol.214	津市	104,229部	28日発行
はる vol.209	松阪市・多気町 明和町・大台町	73,465部	28日発行
イセ vol.184	伊勢市・鳥羽市 玉城町・度会町	64,940部	28日発行
さみっ vol.123	志摩市	20,700部	25日発行
からっ vol.152	尾鷲市・紀北町 熊野市・御浜町 紀宝町	26,341部	28日発行
滋賀県			
県内発行 媒体数	県内 総発行部数	県内 世帯到達率	
5誌	322,166部	50%以上	
botejako vol.225	長浜市・米原市	56,900部	25日発行
konki vol.250	彦根市・多賀町 甲良町・豊郷町 彦根市	69,167部	25日発行
オウティ vol.180	【近江八幡・竜王版】 近江八幡市 竜王町	【近江八幡版】 35,408部	【近江八幡版】 40,791部
	【東近江版】 東近江市	76,199部	
		25日発行	
びんご			
大津北版 vol.159	大津市北部	54,960部	25日発行
津津・守山版 vol.10	津港市・守山市	64,940部	25日発行
大阪府			
府内発行 媒体数	府内 総発行部数		
5誌	695,020部		
ぼろ vol.1244	枚方市・京都府八幡 市・京田辺市	150,000部	第4金曜日発行
寝屋川・枚方版 vol.1207	寝屋川市・枚方市・ 四條畷市	100,000部	第4金曜日発行
守口・門真版 vol.1207	守口市・門真市 大阪市旭区（一部）	100,000部	第3金曜日発行
泉州版 vol.895	高石市・和泉市・東大阪市・生野 町・岸和田市・泉南市・豊能町 ・田尻町・浪速町・東大阪市	185,020部	第1金曜日発行

プロスポーツのシーズン開幕を盛り上げる

地域みっちゃく生活情報誌

地元ラストシーズンの感謝を伝える誌面紹介

三重県鈴鹿市を拠点に活動するラグビーチーム「三重ホンダヒート」より、来場促進と認知向上を目的に、シーズン開幕となる11・12月号で誌面告知のご依頼をいただきました。

2025～26シーズンををもって栃木県への移転が決まっており、三重県での活動がラストシーズンとなることから、本拠地である鈴鹿市の情報誌を中心に計6誌で掲載。鈴鹿市・亀山市の情報誌『Bellve club』では、表紙・巻頭特集にて展開しました。ラグビー観戦が初めての人でも楽しめるよう、試合当日のイベント情報を前面に打ち出し、親しみやすいアメコミ風のデザインに。このデザインが好評で、配布用チラシのデザインについてもご相談をいただきました。

今後も『地域みっちゃく生活情報誌』として情報を伝えるだけでなく、行動につながる提案を行い、地域を盛り上げる誌面づくりを進めていきます。

(Bellve club編集室・浅野)

大手ガス会社の創業祭を企画・運営

イベント

イベントプロデュースは当社にお任せ！

本イベントは、ガス会社であるクライアントの契約者へ感謝を伝えるとともに、地域社会の発展に寄与する姿勢を発信することを目的に開催されました。当社は企画段階から参画し、集客プランの構築から告知物の制作、タレントの起案・折衝、マルシェの出店調整、当日の運営まで、トータルでプロデュースいたしました。

当日は、屋外で地元グルメや雑貨を集めたマルシェ、キッズダンス、キャラクターショーを実施し、屋内では契約者向けのガス機器セールやビンゴ大会、野菜詰め放題などを展開。多様なコンテンツにより、幅広い層の来場者でにぎわいました。イベントの収益の一部は地域の緑化団体へ寄付を予定しているなど、企業の社会貢献活動（CSR）としての側面も支援しております。

当社は緻密な設計力と豊富な経験を生かし、準備から当日運営までイベントの成功を全面的にバックアップいたします。

(中部PM2課・宮西)

山梨市制20周年を記念した商店応援企画

地域みっちゃく生活情報誌

「応援してます」の声を届ける、情報誌の力

山梨市制20周年に際した「山梨市商店応援プロジェクト」の広報に、峡東地域で発行する『ビグレ』をご活用いただきました。プロジェクトの核は、山梨市商工会考案の合言葉「応援してます」。私たちはこの素敵な思いを届けるべく、山梨市商工会加盟の飲食店や小売店など計60店舗を誌面とクーポンアプリ「フリモ」で紹介し、地域経済の活性化と新たな店舗ファンの獲得を目指しました。

店舗で買い物をして合言葉を伝えると、市出身のマキタスポーツさんとコラボしたオリジナルコットンバッグがもらえる仕掛けは、店主と読者が言葉を交わす大切なきっかけとなりました。QRコード読み取り数の解析結果からは、私たちの媒体が山梨市商工会の思いを届け、実際の行動へとつなげる架け橋として機能したことがうかがえます。

これからも情報誌を通じて地域に新しい笑顔と交流を生むべく、峡東地域に深く根ざして歩み続けてまいります。

(ビグレ編集室・小林)

親子が遊びながら学べる情報誌

キッズフリモ

読者、スポンサー、地域の皆さんに愛され5周年

2020年10月に創刊した『キッズフリモ』は、名古屋の親子を対象にした情報誌です。コロナ禍の外出自粛の中、親子で楽しめるおうち時間を提供したいという思いから生まれました。

創刊当時から、地元企業をはじめ多くの店舗からご支援をいただき、おかげさまで20号を迎えました。設置には、子育て関連施設等約300カ所にご協力いただき、名古屋および近郊を網羅しています。

巻頭特集では子ども目線で名古屋の魅力を発信。季節に合わせた塗り絵や間違い探し、迷路など遊びながら学べるコンテンツを多数掲載し、毎号発行部数に対して約2割の読者からコメントをいただいています。学べるコンテンツは、編集タイアップという形で企業コラボも多数。こうした制作実績から、オリジナルツール制作のご相談も増えています。子育てファミリー向けのコンテンツ制作をお考えでしたらぜひご相談ください。弊社クリエイティブチームが自信を持ってご提案いたします。

(中部PM2課・尾関)

『Workin』

アルバイト・パート・中途・新卒・派遣等、あらゆる雇用形態に対応した総合求人メディア

【設置先】 県内広域のスーパー・ショッピングモール・コンビニ・駅・大学など
【仕様】 冊子AB版 オールカラー
【発行部数】 青森版／12,000部 富山版／12,000部 秋田版／12,000部 石川・福井版／12,000部 岩手版／12,000部 山形版／12,000部 宮城版／33,000部
【発行時期】 隔週(月・火)※山形月一

「講演会インフォ」

ゲスト講師、タレント選びからイベント企画立案、当日の運営までサポートするネットワークサービス

【登録講師数】 7,000名
【年間実施件数】 400件以上



クリック

クーポンアプリ「フリモ」

フリーマガジンに掲載しているクーポンがスマホの中に！切り取らなくてもスワイプで簡単に使える！
※ダウンロード数 540,184件 (2026年1月24日現在)



クリック

CHUCO CLUB

2026年 年頭訓示ライブ配信

仕事始めの1月5日、中広グループ全従業員に向けた年頭訓示をライブ配信しました。後藤会長からは、今置かれている環境は当たり前ではないこと、そして2026年は「ありがとう」が飛び交う職場にしようと話がありました。大島社長は、創業49年を迎える2026年は、次の50年を築くための重要な1年であると説明。プロジェクト名は「50X(フィフティエックス)」とし、HAPPY MEDIAの劇的進化と商品価値の劇的向上が必要であること、それに向けた具体的な方針が示されました。

中広グループは今年も感謝の心を持ちながら、さらなる進化を続けてまいります。
(総務人事部・酒井)



▲ 新プロジェクト「50X」を発表する大島社長

全社員にGoogle Workspaceアカウント発行

今年、中広はGoogle Workspace導入によりDXを大きく加速させます。業務ツールの一元化と共同化により、全国ローカル情報のリアルタイムピックが可能となります。そうしたローカル情報をバックグラウンドに、AI(Gemini)の最新モデルを活用し、当たる広告投入先や当たるクリエイティブを迅速に提供します。2026年は爆発的な広告価値向上と持続的な企業価値向上にご期待ください。

(社長室・松野)

愛知淑徳大学タイアップ講義

当社は、愛知淑徳大学ビジネス学部の「企業分析プロジェクトB」に、中部地方の上場会社としてタイアップしています。昨年10月に倉橋取締役が業態会社説明を行った後、学生は4チームで業界・事業・財務諸表・将来展開の分析・検討を重ね、本年1月に最終報告会が開催されました。フレッシュな視点での分析は当社にとっても意義深いものとなりました。今後もキャリア教育に資する活動に努めます。

(広報・マーケティング 岡本)



▲ 学生の皆さんと集合写真／学生たちに講義する倉橋取締役

VCTOPIC

佐賀県『月刊ぶらざ佐賀』株式会社ぶらざ

1社単独7ページのブックインブックを掲載

佐賀県内でトップクラスのシェアを誇る結婚式場を運営するメモリードグループより、期間限定のウェディングパッケージプランの告知に際し、『月刊ぶらざ佐賀』へ広告掲載をいただきました。

全7ページ構成で、情報誌の中にプライダル情報誌があるかのようなデザインを展開し、インパクトのある誌面に。新年号らしく多彩な企画が並ぶ1月号の中でも注目度を高めるため、表紙に導入アイコンを配置しました。その結果、読者アンケートでは気になったページとして多くの反響が寄せられ、読者の高い関心を集める企画となりました。

今後も今回の企画のような、若い世代にも役立つ情報を届ける情報誌づくりを目指してまいります。



▲ 『月刊ぶらざ佐賀』1月号のプライダル誌面

部署だより N0.145

株式会社ケイ・クリエイト『くれよん一宮・稲沢版』編集室



▲ 『くれよん一宮・稲沢版』編集室のスタッフ

愛知県一宮市と稲沢市で発行している、地域みっちゃく生活情報誌『くれよん』。

一宮市は古くから繊維の街として発展し、喫茶店のモーニングサービス発祥の地としても知られる活気ある街です。また稲沢市は、日本有数の植木・苗木の産地であり、天下の奇祭「国府宮はだか祭」が受け継がれる歴史深い地域です。

私たちはこの広大な2エリアの魅力を再発見し、地域の皆さんの暮らしを彩る情報を、毎月約20万部お届けしています。読者の皆さんに「今月はここへ行きたい!」と感じていただけるよう、地元を愛する6名のスタッフが、話題の新店から隠れた名店、伝統行事の裏側まで、独自の視点で丁寧取材・編集しています。

これからも一宮・稲沢の「人・街・情報」を繋ぐ架け橋として、地域にどこよりも密着し、読者に寄り添った信頼される誌面づくりに邁進してまいります。パワーアップし続ける今後の『くれよん一宮・稲沢版』に、どうぞご期待ください。

(くれよん一宮・稲沢版 瀬古)

編集後記

弊社は2027年5月1日に創立50年を迎えます。これに伴い、私は2026年度を、記念日を迎えるための準備イヤーとして位置づけています。

創業以来、大切にしている言葉があります。社訓でもある「飲水不忘掘井人」。「水を飲むときに、井戸を掘った人のことを忘れてはならない」という中国のことわざです。50周年という節目に際し、現在に至るまで一つ一つ実績を積み上げてきた社員、これまで成長を支えてくださった顧客・読者・取引先の皆さまへ、心からの感謝を伝えたい。そして、「中広を応援してきてよかった」と思っていただけの周年イベントを実施したい——それが私の強い思いです。

100周年という次の大きな節目には、私は立ち会えないでしょう。だからこそ、この50周年を未来へつなぐ節目にしたいと考えています。
(広報・マーケティング 岡本)

HAPPY MEDIA

『ままこっと®』

園児から家庭に直接届く子育て情報満載のフリーマガジン

【配布先】 県内全域の幼稚園・保育園・こども園
【設置先】 産婦人科・小児科・児童館・図書館・ショッピングモール等
【仕様】 冊子A5版 オールカラー
【発行時期】 年4回(1月・4月・7月・10月)
【発行部数】 みやぎ版／25,000部 ちば(中部版)／50,000部 群馬版／57,000部 ちば(北西部版)／50,000部 埼玉東版／25,000部 岐阜版／57,000部

『Start!』

進路選びを応援する高校生のための就職応援メディア

【配布先】 高校
【仕様】 冊子A4 オールカラー
【発行エリア】 山形県、群馬県、岐阜県、愛知県、三重県、滋賀県、鳥取県、福岡県



『まま・ここと』は、中広が展開するHAPPY MEDIA®ブランドの中でも、「子育て家族」に特化したセグメントメディアです。『地域みっちゃく生活情報誌®』が「住む地域」という切り口で読者の暮らしに寄り添うのに対し、『まま・ここと』は県単位で、子育て中のママ・パパに本当に必要な情報を届けることを目的としています。今回は、『まま・ここと』編集室が取り組んだリアルイベント「ままここランド」について、結城奈津美編集長にお話を伺いました。

» 『まま・ここと』とはどんな媒体か

結城／0歳～6歳までのお子さんを持つ子育て家庭に向けて発行するフリーマガジンで、幼稚園や保育園等を通じて配布いただいている季刊発行の媒体です。制作にあたるスタッフもみんな“ママ”なので、“ママによる子育て家族のためのバイブル”になればいいなと思って発行しています。

岡本／確かに子育ての悩みや関心事って、“家族のライフステージ”で共通点が強く出ている気がします。保育園・習い事・食育・休日の過ごし方…。同じ“子育て世代”だからこそ分かる情報は多そうですね。

» ままここランドを始めたきっかけ

結城／ままここランドの根底には、「子どもたちに多様な“体験の機会”を提供したい」という思いがあります。

コロナ禍を挟み、子どもたちの体験機会が制限される時期が続いたことを受け、編集室では、地域の企業と連携して体験イベントをつくれなかと検討を始めました。

広告掲載だけでは伝えきれない“企業の価値”を、親子がリアルに感じられる機会をつくりたかったんです。そして、体験を通じて“できた！”を積み重ねられる場所を作りたいと思いました。

» イベント内回遊率や体験を促進する工夫

岡本／イベント内通貨も面白い発想ですね。

結城／各ブースで体験するとイベント内通貨「ここと」がもらえ、最後は「こことショッ

プ」(駄菓子屋さん)でのお買い物体験へ…と、自然と学びにつながる“循環設計”も、ままここランドならではの工夫です。さらに2025年は、売上の一部を活用し、県内の児童養護施設の子どもたちへ「いちご狩り体験」をプレゼント。「イベントに来られない子にも体験を届けたい」という思いが形になりました。

» 驚異の満足度93%超え

岡本／3度目の開催は結果も素晴らしかったと伺っています。

結城／地域的大型施設内での開催も奏功し、過去最大規模となりました。ワークショップ体験も全館で実施され、ひよこふれあい、化石発掘、配達員・救急隊・自衛隊体験、料理、アナウンサー体験など、職業・食・環境・防災…多様な体験が1日でできる“体験の博覧会”に進化しています。

DETA	
開催日	2025年11月29日・30日
会場	ジョイオンパーク吉岡
来場者	約4,600名(2日間)
事前予約	800席が30分で9割満席
キャンセル待ち	532名
施設来館者数	昨年対比102%

来場者アンケートによるイベント全体の満足度は「大変満足」54.7%「満足」39.2%となっており、満足度93.9%という結果となりました。

岡本／満足度93%超えは脅威の数値ですが、広告業を生業とする当社としては施設の来館者数が昨対で102%というのも嬉しいところですね。

» 属性セグメント媒体を発行する意義

岡本／最後に、結城さんに『まま・ここと』という媒体を発行する理由、そして『地域みっちゃく生活情報誌®』ブランドとは異なる意義について伺いたいです。

結城／地域密着の強さは『地域みっちゃく生活情報誌®』の大きな価値です。でも“子育て”というテーマには、エリアよりも属性で強く共有・共感できる悩みや楽しみがたくさんあります。だからこそ、会社としてはコアな悩み・欲求に対してはコアな媒体を提供する価値がある、出稿主に対しても地域と属性の両輪で打ち出し方を変えることで、より大きなメリットを提供できると考えています。

岡本／地域を軸にしたメディアと、属性を軸にしたメディアが揃うことで、中広として提供できるソリューションの幅が広がり、結果的に地域や日本全体への情報提供価値が高まることに繋がっていきますね。

子どもたちの学び、企業と地域の接点、家族の思い出。そのすべてを“子育て家族に寄り添う”ということを軸に編集部が丁寧に編んできました。


中広は今後も、地域ブランド『地域みっちゃく生活情報誌®』に加え、属性セグメント型メディアという新たなアプローチに関しても、取り組み続けます。



参加者アンケート

来場者からは470件を超える来場者アンケートが寄せられました。

- | 子どもたちの声 | 保護者の声 | 出展企業の声(要点まとめ) |
|------------------|---------------------------|--------------------------------------|
| ● ここと20枚集めた！ | ● 普段でできない体験ができてよかった | ● 子どもたちが主体的に体験してくれるため、自社サービスの理解が深まる |
| ● ひよこがかわかった | ● 企業のことを知る機会にもなった | ● 地域の子育て層と直接接点を持って、企業ブランドの認知向上につながった |
| ● おうちづくりが楽しかった | ● 無料でこれだけ楽しめるのはありがたい | ● スタッフにとっても“地域貢献を実感できる機会”になった |
| ● 駄菓子のお買い物ワクワクした | ● ブースが多く待ち時間が少ないのが○ | |
| | ● 事前予約がすぐ埋まるので、当日枠がもっと欲しい | |

会社概要	商号	株式会社 中広 (CHUCO CO., LTD.) 東証・名証 証券コード【2139】	
	創業	1978年	
	資本金	4億430万円	
	従業員	421名 グループ全体 741名 (2026年1月末現在)	
事業内容	フリーマガジン事業 プロモーション事業 クロスメディア事業	イベント・セミナー事業 通信販売事業 VC事業(ボランティア・チェーン)	
理念	広告業を通して「地域社会への貢献」(地方創生に!) 人が命・人が宝・人が財産(社員が輝く組織に!) 機会損失の排除(モノ・トキ・ココロの無駄ゼロ)		
社訓	飲水不忘掘井人(感謝の心で!)		
グループ会社	株式会社中広メディアソリューションズ 株式会社ケイ・クリエイト 株式会社ケイビーエス 株式会社 関西ぼど 株式会社まちトピア 株式会社中広ワークイン	https://chuco-ms.co.jp http://www.k-create.co.jp http://www.post-kps.co.jp https://www.kansaipado.co.jp https://www.machitopia.com https://chuco-workin.co.jp	

第48期 基本方針		
スローガン	Data Driven Innovation	テーマ 生産性向上

オフィシャル運営サイト	●中広企業サイト ●中広採用サイト ●中広VCサイト ●フリモ(WEB) ●講演会インフォ ●わくわく生活(楽天)他 ●販促blog ●HAPPY MEDIA GUIDE(情報誌見様サイト) ●ハッピーメディア®児童虐待防止運動 ●日本地域メディアネットワーク(JLMN)	
公式アカウント	●Facebook ●YouTube ●Instagram ●(旧iTwitter)	リンク集はこちら
加盟団体	●JLAA 一般社団法人日本地域広告会社協会	



沿革	
年	内容
1978	設立 後藤数次社長就任
1983	求人情報紙事業開始
1986	後藤一俊社長就任
1993	イベント・セミナー事業開始
1994	●岐阜県／「かにさんくらぶ」創刊
1997	●滋賀県進出
1998	通信販売事業開始
2006	●三重県進出
2007	●50万部達成
2007	●福井県進出
2008	講演会インフォ公式サイト開始 ●100万部達成 ●愛知県進出
2009	
2010	
2011	●児童虐待防止運動を岐阜県高山市で開始
2012	名古屋証券取引所第二部上場 VC事業開始
	●全国展開開始(VC) ●福岡県・山梨県・兵庫県・和歌山県進出 ●200万部達成
2013	●山形県・茨城県・鳥取県進出 ●300万部達成
2014	東京証券取引所第二部上場 ●栃木県・宮城県・新潟県・群馬県・大阪府進出 ●岐阜県広報「岐阜県からのお知らせ」掲載開始
2015	東証一部・名証一部に市場変更 ●北海道・埼玉県・佐賀県・香川県進出 ●500万部達成
2016	●高知県・福島県・長野県・京都府進出 『ままここと』創刊
2017	●東京都・愛媛県・静岡県・宮崎県・奈良県進出
2018	●児童虐待防止運動を全国へ展開 ●愛知県交通事故死者数 ●全国ワースト脱却CP開始
	●三重県「三重県からのお知らせ」掲載開始 ●大分県進出
2019	後藤一俊会長就任 中島永次社長就任 ●愛知県交通事故死者数全国ワースト脱却CP達成 岐阜市・笠松町とシティ・タウンプロモーションの推進に関する連携協定締結
	[Start!]創刊
2020	●沖縄県進出
2021	多治見市とシティプロモーションの推進に関する連携協定締結
	クーボンアプリ「フリモ」開始 ●1,000万部達成
2022	大島斉社長就任 株式会社中広メディアソリューションズ設立 株式会社中広メディアソリューションズグループ化 株式会社ケイ・クリエイト/株式会社ケイビーエスグループ化
2023	株式会社関西ぼどグループ化 ●児童虐待防止運動の一環で ●「にっぽんオレングシ」ボール運動を開始
	●神奈川県・秋田県・千葉県・岩手県進出
2024	●児童虐待防止運動が 文部科学省と子ども家庭庁を後援活動に
	●青森県・石川県・富山県進出
2025	株式会社まちトピア設立 株式会社中広ワークイングループ化

※従業員数はグループ会社含む ●…おもなCSR・CSV活動 ●…地域みっちゃく生活情報誌®

営業拠点

■ 本社

岐阜本社

岐阜市東興町27

名古屋本社

名古屋市中村区名駅1-1-1 24F

■ FM事業部

《北海道》

SORA編集室

滝川市東町6-1-11

TEL.0125-74-6169

旭川市東光6条6-4-7

TEL.0166-85-6158

AO編集室

苫小牧市旭町3-7-6

TEL.0144-56-5704

《宮城県》

とみずい編集室

仙台市泉区泉中央1-33-7 2F

TEL.022-341-4809

なうてい編集室

名取市手倉田字蔵訪532-1 1F西

TEL.022-797-8541

ざきっぱ編集室

大崎市古川旭5-3-2 2F

TEL.0229-25-8792

《群馬県》

高崎フリモ

前橋フリモ編集室

高崎市新保町139-1 2F

[高崎フリモ]TEL.027-353-8714

[前橋フリモ]TEL.027-353-8711

伊勢崎フリモ

太田フリモ編集室

伊勢崎市茂呂町2-3522-6

TEL.0270-61-6117

桐生みどりフリモ編集室

桐生市本町6-27-1 3F

TEL.0277-47-7635

《埼玉県》

クッキーズ・とねじん編集室

久喜市久喜中央2-8-23 3F

TEL.0480-38-6881

《富山県》

にいわプラス編集室

魚津市新金屋1-12-38 4F

TEL.0765-57-5120

《福井県》

きらめきくらぶ編集室

敦賀市野神40-277-2 1F

TEL.0770-24-2622

《山梨県》

ParuPi・ビグレ編集室

甲府市上石田4-1-10

TEL.055-221-0682

《岐阜県》

GIFUTO編集室

岐阜市東興町27 4F

TEL.058-247-2512

SARUBOBO編集室

高山市下岡本町2967-2

TEL.0577-34-5579

Wao!Club・mintoup

はしまる編集室

大垣市加賀野4-1-13

[Wao!]TEL.0584-75-1960

[mintoup]TEL.0584-77-4088

[はしまる]TEL.0584-71-6226

GUJOプラス編集室

郡上市八幡町小野91-1

TEL.0575-67-0655

たんとんくらぶ編集室

各務原市那加栄町14-1

TEL.058-380-6066

きらくらぶ編集室

関市山王通1-6-3

TEL.0575-24-4334

かにさんくらぶ編集室

可児市今渡字町1595-190

TEL.0574-25-7009

おりべくらぶ・らせるくらぶ編集室

多治見市太平町4-38

[おりべくらぶ]TEL.0572-21-2626

[らせるくらぶ]TEL.0572-55-2033

maika club編集室

中津川市駒場字青木429-3

TEL.0573-62-2522

《愛知県》

フリモUP編集室

名古屋市中川区柳森町107 2F

TEL.052-355-6111

緑区フリモ編集室

名古屋市長区六田1-150 2F

TEL.052-829-0270

守山フリモ・アサヒセト編集室

尾張旭市東本郷ヶ原町3-53 2F

[守山フリモ]TEL.0561-42-5799

[アサヒセト]TEL.0561-42-6981

ゆいまるくらぶ・かなうくらぶ

あやもっこ編集室

愛知郡東郷町北山台4-1-6

[ゆいまるくらぶ]TEL.0561-42-4850

[かなうくらぶ]TEL.0561-42-4855

[あやもっこ]TEL.0561-42-4885

cocolu club・安城フリモ

北知多フリモ編集室

知多郡東浦町大字緒川字下汐田17-1

TEL.0562-85-1077

リブル倶楽部編集室

犬山市松本町2-29

TEL.0568-39-6111

岡崎フリモ編集室

岡崎市明大寺町字川端19-13 4F

TEL.0564-83-7121

西尾フリモ・オレンジクラブ編集室

額田郡幸田町大字芦谷字毛倉62 1F

TEL.0564-83-7763

《三重県》

ぼろんくらぶ編集室

桑名市殿町10

TEL.0594-25-9988

Belive club編集室

鈴鹿市神戸1-10-10

TEL.059-373-4400

よっかいちai編集室

四日市市曙の森1-5-16 8F

TEL.059-325-7562

つうび〜ず編集室

津市栄町1-840 5F

TEL.059-213-7666

リーガクラブ編集室

名古屋市鴻之丘3番町36-1

TEL.0595-41-0156

ふぁみんくらぶ編集室

松阪市東町596 3号棟 1-A

TEL.0598-31-3623

イセクラブ編集室

伊勢市岩洲3-6-5 2F

TEL.0596-63-8282

からつ倶楽部編集室

尾鷲市中村町6-52 2F

TEL.0597-37-4100

さみっくらぶ編集室

志摩市阿児町端方2850-126 D号室

TEL.0599-65-7201

《滋賀県》

ぼてじゃ倶楽部編集室

長浜市宮司町1161-7 2F

TEL.0749-68-2577

こんさくらぶ編集室

彦根市長曾根町9-22 1F

TEL.0749-26-0555

オウティクラブ編集室

近江八幡市桜宮町289 3F

TEL.0748-36-1148

びわこ編集室

[大津北版]1[草津・守山版]

大津市浜大津2-1-35 6F

TEL.077-521-3911

《奈良県》

かしろくらぶ編集室

橿原市新賀町237-1 2F

TEL.0744-48-0606

《和歌山県》

まいなが・まいとん編集室

岩出市高瀬84-2 2F

TEL.0736-67-7630

《鳥取県》

つばさ編集室

鳥取市吉方温泉3-860 2F

TEL.0857-30-6446

くらくらぶ編集室

倉吉市山根540-1 4F

TEL.0858-27-0510

こはくらぶ編集室

米子市西福原2-9-49 2F

TEL.0859-21-5400

《広島県》

はつカラ編集室

廿日市新宮2-1-10 1F

TEL.0829-30-6673

えるびん編集室

福山市西町2丁目 5-5 2F

TEL.084-999-1535

《福岡県》

まいいたん編集室

福岡市早良区西新5-1-30 3F

TEL.092-833-5250

むなふ・おるね編集室

宗像市土穴1-3-34 1F

[むなふ]TEL.0940-72-6101

[おるね]TEL.0940-72-6102

《佐賀県》

月刊TOSS編集室

鳥栖市東町1-1064-15 1F

TEL.0942-50-9619

■ アライアンス事業部

VC部

岐阜市東興町27 4F

TEL.058-247-2511

■ EC統括室

大垣市加賀野4-1-13

TEL.0584-74-0745

■ 管理本部

経理部・総務人事部

岐阜市東興町27 2F

TEL.058-240-4005

[購買流通課]TEL.058-246-0285

■ グループ会社

株式会社中広ワークイン

本社

仙台市若林区丹丁18-2 3F

TEL.022-225-8010

株式会社関西ぼど

本社

大阪市西区朝本町1-10-24 5F

TEL.06-6479-3113

株式会社中広メディアソリューションズ

本社 / 横浜オフィス

横浜市区西みなとみらい3-3-11F

TEL.045-514-1409

株式会社ケイ・クリエイト

本社

一宮市小曾川町里小牧寺東125

TEL.0586-86-0608

株式会社ケイビーエス

岩倉市新柳町1-50 2F

TEL.0587-96-8336

株式会社まちトピア

港区新橋2-16-1 9F

TEL.03-6910-2940